

体験学習会 佐世保

■3月20日(祝)8時30分から21日(日)17時まで。1泊2日 ■長崎県立佐世保少年の天地。本庁舎1階ロビー集合 ■対象市内に住んでいる小学4年生～6年生 ■内容野外活動、九十九島遊覧船体験 ■料金食事代2,000円。バス・宿泊代は主催者が負担 ■定員30人・抽選 ■申込締切2月15日(月)。申込書は申込先に準備

◎市子ども会連合会
(えーるピアク留米内、
☎FAX 30・4049、
✉ kyukoren@gmail.com)



おわびと訂正

12月15日号2、3ページに掲載した主な出来事に誤りがありました。「市議会(臨時会)で新型コロナ関連補正予算を可決」は正しくは5月です。おわびして訂正します。

編集後記

・新型コロナウイルスの感染が拡大しています。毎年紙面を飾っていた「鬼夜」の大たいまつや出初め式、「酒蔵びらき」なども、次々と中止に。記事の差し替えも相次いでいます。広報紙は2週間おきの発行。刻々と変化するウイルスとの戦いにはインターネットが有効です。市はLINEやfacebookで、いち早く新型コロナ感染確認情報を発信しています。「広報くるめ」には、じっくりと対策や支援の情報などを掲載します。今後も新型コロナ対策に限らず、多様な媒体を活用しながら、市民の皆さんに市政情報を届けていきます。(豊)

日曜在宅医

※平時の診療時間や災害時の開業は各医療機関にお問い合わせください
※医療機関が変わる場合があります。変更は市ホームページ「日曜在宅医」で確認してください

2月7日 内科		
よしかいクリニック	花畑	39-4114
高良台		
リハビリテーション病院	藤光町	51-3838
古賀内科クリニック	野中町	38-7350
小郡三井医師会 休日診療センター	小郡市	72-5534
富田病院	城島町	62-3121
国武医院	大木町	0944-32-1105
筑後川温泉病院	うきは市	0943-77-7251
外科		
なご整形外科	大橋町	47-1351
神代病院	北野町	78-3177
福田病院	大川市	0944-87-5757
ひさしたかし整形外科 クリニック	大川市	0944-87-5539
筑後川温泉病院	うきは市	0943-77-7251
小児科		
はるこどもクリニック	新合川	45-8558
眼科		
楨眼科医院	城南町	32-4807
耳鼻科		
ふじたクリニック	長門石	38-2816
歯科		
もりもと歯科医院	新合川	45-2313
産婦人科		
久留米総合病院	榎原町	33-1211

2月14日 内科		
赤司内科医院	山川通分	44-2095
堀川病院	西町	38-1200
俣野内科医院	梅満町	32-5710
小郡三井医師会 休日診療センター	小郡市	72-5534
富田病院	城島町	62-3121
古賀医院	三瀬町	65-0240
宿里医院	大川市	0944-86-4069
外科		
まさ乳腺クリニック	花畑	46-1100
福田病院	大川市	0944-87-5757
田主丸中央病院	田主丸町	0943-72-2460
小児科		
福田こどもクリニック	宮ノ陣	46-6000
原田小児科内科医院	田主丸町	0943-73-0195
眼科		
橋本眼科医院	小郡市	72-2335
耳鼻科		
広瀬耳鼻咽喉科医院	天神町	32-1587
歯科		
山下良太歯科クリニック	諏訪野町	21-5354
産婦人科		
宮原クリニック	国分町	22-3011

2月21日 内科		
内山内科医院	津福本町	32-9168
薬師寺内科医院	国分町	21-2683
平塚医院	大橋町	47-0018
丸山病院	小郡市	73-0011
小郡三井医師会 休日診療センター	小郡市	72-5534
萬年内科	城島町	62-4161
安本病院	三瀬町	64-2032
うすい内科・循環器科	うきは市	0943-75-2260
外科		
戸次クリニック	東町	33-3123
高木病院	大川市	0944-87-0001
よしはら医院	大川市	0944-87-2711
原鶴温泉病院	うきは市	0943-75-3135
小児科		
いむた小児科	諏訪野町	30-7611
きのした小児科クリニック	小郡市	72-6856
眼科		
林眼科医院	東町	32-2168
耳鼻科		
宮城耳鼻咽喉科クリニック	筑後市	52-8733
歯科		
大淵歯科医院	大善寺南	26-8371
産婦人科		
みやはら産婦人科医院	日吉町	33-3331

全日曜、祝日		
外科 聖マリア病院	津福本町	35-3322
外科 新古賀病院	天神町	38-2222
内科・外科 嶋田病院	小郡市	72-2236

2月11日(祝) 内科		
竹田津医院	国分町	21-3720
緒方胃腸科医院	莊島町	34-8311
合川さかもと内科	合川町	41-8585
小郡三井医師会 休日診療センター	小郡市	72-5534
安本病院	三瀬町	64-2032
矢野医院	うきは市	0943-75-2859
外科		
白地整形外科・スポーツ クリニック	御井町	41-0379
高木病院	大川市	0944-87-0001
浮羽クリニック	うきは市	0943-77-7111
小児科		
井上医院	榎原町	32-3064
眼科		
山下眼科医院	筑後市	53-2225
耳鼻科		
江崎耳鼻咽喉科医院	筑後市	53-2347
歯科		
小林歯科医院	津福本町	32-3388
産婦人科		
渡辺レディースクリニック	国分町	21-1103

2月21日 内科		
赤司内科医院	山川通分	44-2095
堀川病院	西町	38-1200
俣野内科医院	梅満町	32-5710
小郡三井医師会 休日診療センター	小郡市	72-5534
富田病院	城島町	62-3121
古賀医院	三瀬町	65-0240
宿里医院	大川市	0944-86-4069
外科		
まさ乳腺クリニック	花畑	46-1100
福田病院	大川市	0944-87-5757
田主丸中央病院	田主丸町	0943-72-2460
小児科		
福田こどもクリニック	宮ノ陣	46-6000
原田小児科内科医院	田主丸町	0943-73-0195
眼科		
橋本眼科医院	小郡市	72-2335
耳鼻科		
広瀬耳鼻咽喉科医院	天神町	32-1587
歯科		
山下良太歯科クリニック	諏訪野町	21-5354
産婦人科		
宮原クリニック	国分町	22-3011

全日曜、祝日		
外科 聖マリア病院	津福本町	35-3322
外科 新古賀病院	天神町	38-2222
内科・外科 嶋田病院	小郡市	72-2236

※休日当番薬局は久留米三井薬剤師会ホームページへ



■森山智子さん(左)、阪本信介さん
生活困窮や引きこもりなどの困りごとに対応する生活自立支援センターは、市内を東西に分割して担当。森山さんと阪本さんは各エリアの主任相談支援員で、センター開設以来、多くの人の自立を支えてきました。

シリーズ みんなで生きる

6 本質を見抜き 伴走し続ける(最終回)

白紙になって聴く

個別支援の現場では、思い込みを排除し、裏に潜む真の課題を見いだすことが重要。生活自立支援センターの森山智子さんは「白紙になって聴くこと」を常に意識しています。森山さんが関わった本田秀和さん(仮名・59歳)は30年以上勤めた製造工場が閉鎖し、50歳で離職しました。その後は職を転々とし、1年ほど続いた職場も人間関係の悪化から心の病に。そのまま退職となり同センターに相談に来ました。

本田さんは持病があり、年長的にも再就職が厳しい状況でした。しかし、森山さんが本田さんと向き合う中でとり着いた真の課題は「字の読み書きができない」こと。2文字以上並んだ漢字や片仮名が理解できないという障害が潜んでいたのです。工場で長年働けたのは、親方の動きを見て覚える仕事だったから。転職を繰り返したのはこの障害のためでした。

共通理解が成長のきっかけに

本田さんの希望である生活の安定のために、森山さんは課題を整理しました。障害者枠で就職するため、障害者手帳の取得を提案。面接を申し込む時は、森山さんが障害の特性や程度、働く上での希望などを会社に伝え、再就職が円滑に進むようにしました。収入が減った分は、障害年金の受給手続きを行うなど、収入の総額を意識した生活再建を進めました。本田さんは「相談前に申し込んだ面接はほぼ門前払い。森山さんが整理してくれたおかげで希望の仕事に就くことができ、生活していけると思えたんです」と話します。現在の会社で働き始めて4年。職場の理解が成長の後押しになり、書類の漢字も随分読めるようになったと言います。定年を迎える今年初めに「会社から『定年を延長するからもう少し働いてみないか』と言われました」と笑顔で森山さんに報告しました。

「自立した人からの報告は、その後の支援に必ず生きる。支援員を温かな気持ちにし、次に向かわせてくれる。なので、支える側と支えられる側という関係ではありません。私たちも支えられています」と森山さんは話します。

◎地域福祉課 ☎0942・30・9175、FAX 0942・30・9752

本田さんが読み書きできないことは見えにくい。そこに対応すべき本質部分がありました



相談申込・受付票の項目を確認しながら、相談者の話を冷静に整理します



さまざまな制度の知識が必要。さまざまな窓口と調整しています



この事例はどれ?
地域共生社会の実現のために、13の取り組みの視点があります。掲載した取り組み事例がどれに当たるかを、黄色で示しました。

地域共生社会に向けた取り組み

13の視点

- ①つながりの構築
- ②見守り活動の推進
- ③誰もが集える場の拡充
- ④個別対応が必要な人への支援
- ⑤災害時要支援者への支援
- ⑥権利擁護の推進
- ⑦多機関連携の推進
- ⑧財源確保の推進
- ⑨地域における人材の育成
- ⑩コミュニティなどへの支援
- ⑪事業者などの地域貢献の促進
- ⑫福祉人材の養成と資質の向上
- ⑬福祉の理解を深める取り組み

市ホームページ「くるめ支え合うプラン」へ



詳しくはこちら